

※ 灘五郷について

神戸市の西郷・御影郷・魚崎郷と、西宮市の西宮郷・今津郷の五つの郷の総称で、酒造りに最適の「宮水」が湧き出るほか、酒造用原材料米の最高峰といわれる「山田錦」の産地も近いことから、「日本一の酒どころ」として栄えています。現在は、27の清酒・みりんを製造する蔵元があり、全国の約25%に相当する量の日本酒がこの一帯で製造されています。



※ 「灘の酒蔵」活性化プロジェクトについて

2017年10月から「灘の酒蔵」の活性化に向けて、灘五郷酒造組合、神戸市、西宮市及び阪神電気鉄道株式会社が実行委員会の構成員となり立ち上げたプロジェクト。「灘の酒蔵」の魅力をも効果的に発信する様々なプロモーション活動を行っています。

詳細はこちら：<http://www.nadagogo.ne.jp/gogo/>



※ ラッピングトレイン第2弾「Go!Go!灘五郷!」について

「灘の酒蔵」活性化プロジェクト実行委員会では、2020年10月13日（火）から第2弾となるラッピングトレインの運行を開始。第2弾のデザインテーマは「四季折々の日本酒の楽しみ方」。春は「花見酒」、夏は「涼み酒」、秋は「ひやおろし」、冬は「しぼりたて」と、季節に応じた日本酒の楽しみ方を猫のイラストレーションで表現しています。また、車内にも、ミニチュアの菰樽が付いたつり革や、座席側面のステッカーなど、乗車中も楽しめる“灘五郷一色”の列車として運行しています。



※ 日本遺産について

2020年6月、神戸市、尼崎市、西宮市、芦屋市、伊丹市（幹事市）の5市が申請した『「伊丹諸白」と「灘の生一本」下り酒が生んだ銘醸地、伊丹と灘五郷』が2020年度の日本遺産に認定されました。

認定されたストーリーは、伊丹や灘の良質な酒が、酒輸送専用の樽廻船によって江戸に届けられ、「下り酒」として賞賛された物語を軸としたものです。

これにより、今後ますます灘五郷のお酒が、ストーリーに乗せて国内外に発信されていくことが期待されます。

